

あいさついっぱい 元気いっぱい

プラスの言葉いっぱい キラリ輝く高千穂小



7月号

霧島市立高千穂小学校

令和6年度7月号 No.4

令和6年7月5日(金)

地域学校協働活動

校長 森 幸恵

『地域学校協働活動』とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体などの幅広い参画によって、地域全体で子供たちの学びや成長を支え、学校を核とした地域づくりを目指し、地域と学校が相互にパートナーとなって行う様々な活動のことです。

先月26日に行われた『高千穂小かつお祭り』では、地元企業様のご支援により、初夏の代表的な食材である「初鯉」の解体を見たり、味わったりするなどの体験的な活動を通して、子供たちは日本の食文化や食に携わる人々の職業観などを学ぶことができました。



～子供たちの感想～

- 魚をさばいているのを見るのは、はじめてです。かつおフライを食べたこともはじめてでした。魚をさばいているところは、すごかったです。(2年生)
- かつおのことやかつおのさばき方を教えてくださいありがとうございました。かつおのフライは、おいしかったです。さしみも食べたかったです。(4年生)
- 26日の元気塾では鯉のさばき方を教えていただきました。鯉には、血がたくさんあること(血合い)も知りました。三枚おろしもきれいにさばっていて、すごいと思いました。試食の鯉のフライもすごく美味しかったです。(6年生)

このような地域学校協働活動は、子供たちに主体的に学ぶ姿勢や自らの学びを社会づくりに生かしていこうとする意識を育み、豊かな心や地域への愛情を醸成していくものと考えています。また、我々教職員も地域の人々との関わりの中で、地域の一員としての自覚や責任感を認識し、教育者としての意欲が高まっていくと思います。そして、活動に参画する地域住民の皆さんにとっても、生きがいや自己実現に資するものであってほしいと願います。

ウェルビーイングが実現される社会は、子供から大人まで一人一人が担い手となって創っていくものです。高千穂小学校は、これからも地域と学校の連携・協働のもと、地域全体で子供の成長を支え、地域を創生する活動の推進に力を注いで参ります。

不審者対応避難訓練



6/19に「不審者対応避難訓練」を行いました。警察の方にお越しいただいて、前半は校内に不審者が入ってきたという想定で避難を行いました。今回は不審者の動きが速く、職員の動きについてもその場に応じた対応のあり方を改めて考えさせられました。

後半は体育館に集まって、登下校中に不審者に遭った場合を想定しての訓練を行いました。上学年、下学年と受け答えや間の取り方など、しっかりとした対応ができて、速やかに子供110番の家に駆け込むことができました。いつ起きるかわからないことなので、今回の訓練を忘れず、万全の備えを心がけてほしいと思います。

水泳学習開始



水泳学習が始まりました。今年も地域ボランティアの北山さんに御指導いただき、子供たちが水に親しみ、泳力を向上することができるよう、学校地域協働活動の一層の推進に努めています。

8月の主な行事

1	木	出校日
13	火	学校閉庁日(~15日)
21	水	出校日
22	木	市教育講演会



9月の主な行事

6	金	高千穂小元気塾(九電みらいの森)
9	月	PTA 理事会
17	火	授業参観・学級PTA
24	火	移動図書
27	金	メディアコントロール期間(~9/30)



6/12 学校評議員会及び信頼される学校づくりのための委員会



学校評議員会制度とは、地域に開かれた教育課程の実現に向けて地域住民の代表が学校運営の当事者の一人として学校運営に関する意見を述べることができる仕組みを指します。今年度は学校評議員として、公民館長の児玉昇さん、PTA会

長の小林広和さん、地域の有識者として高崎道江さん、さらに信頼される学校づくりのための委員として前野二美さんをお願いしました。学校の中だけでなく、外からの視点で、学校の教育活動を評価してもらい、よりよい教育活動ができるよう、いただいた御意見をしっかり活かして参ります。

学校閉庁日について

霧島市では、職員のライフワークバランスを考慮して、8月11日(日)から17日(土)をリフレッシュウィークとして、休みを取りやすい期間としています。特に8月13日(火)から15日(木)の3日間は学校閉庁日とし、学校は完全に不在となる期間としています。緊急の連絡は、霧島市教育委員会へお願いします。